unicef

ユニセフ兵庫ニュース

Wish

世界の子どもたちのために

vol.75
2025年1月号

外国コインの仕分けに挑戦（虹っ子スクール）

CONTENTS

2-3 EVENT REPORT ユニセフ・キャラバン・キャンペーン
4-5 文化の秋 イベントの秋 ワクワクする秋
6-7 活動ファイル 2024年9月～12月
8 お知らせ

EVENT REPORT

ユニセフ・キャラバン・キャンペーン

「ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」は日本の子どもたちに、世界の子どもたちの現状やユニセフの活動を伝えるため、1979年の「国際児童年」よりスタートしました。

全国を4年で一巡するこのキャンペーン。2024年11月5日は服部洋平副知事・藤原俊平教育長への表敬訪問と県内の教職員・教育委員会関係者対象の研修会、6日は神戸市の小・中学校でのユニセフ学習会を実施しました。兵庫県への訪問は5年ぶり9回目でした。

ここでは研修会と学校訪問、9日に行われた日本ユニセフ協会職員と兵庫県ユニセフ協会学生チームの若者とのミーティングの様子を報告します。

表敬訪問　服部洋平兵庫県副知事（右）と金子雅彦日本ユニセフ協会学校事業部部長（左）

ユニセフ研修会

11月5日（火）
兵庫県私学会館

研修は教職員や教育委員会関係の方々44人を対象に「持続可能な社会の創り手を育むために」をテーマに行われました。それに先立ち、日本ユニセフ協会職員から日頃の学校でのユニセフ活動や学校募金への感謝が伝えられました。

前半では世界の課題とユニセフの活動について紹介されました。今、世界は紛争・気候変動・貧困などの課題に直面しています。ウクライナにおける紛争は食料や資源の不足、物価高騰を引き起こし、干ばつや洪水をもたらす気候変動が未曽有の栄養危機を招いています。

ユニセフは多くの子どもの命を守ることに力を入れています。支援を続けるだけでなく子どもたちを元気に育てられるように「自立」を目指した仕組み作りも行っています。このようなユニセフ活動はSDGs[*1]ともつながっています。

後半では、グループワークを取り入れながら、SDGsと「子どもの権利」について考えました。

SDGsのグループワークでは、アイディアを出し合って課題解決を考えるカードゲームを行いました。協力してこれまでになかったような新しいつながりを見いだしていくことが解決の鍵になることが実感をもって理解されたようでした。

また「子どもの権利条約」を視点をもって読むワークを通じて、子どもたちの日々の生活の中でどんな権利が脅かされる可能性があるのかを考えました。ユニセフが推進する「子どもの権利を大切にする教育（CRE）[*2]」を通じて、子ども自身が自分のもつ権利を知り、さらに、他者も同じ権利をもつことを認識し、互いに尊重する態度を養うことが、ひいては子どもたちの自己肯定感を高め、社会課題解決への意欲を高めることにもつながることが紹介されました。

研修会の最後には、学級目標をつくる実践記録やこども家庭庁と共催の「こどものけんりプロジェクト」、ユニセフの資料や情報の紹介がありました。

＊1　SDGs（持続可能な開発目標）
キーワードは「誰一人取り残さない」。17の目標と169のターゲットをかかげ2030年までの達成を求められている。

＊2　CREハンドブック

学校訪問

11月6日（水）

舞子小学校での学習会

キャラバンは神戸市立舞子小学校と神戸市立長峰中学校を訪問し、学習会を行いました。

学習会では、ユニセフの活動の基となる「子どもの権利」と、今世界の子どもたちが置かれている状況を紛争・気候変動・貧困から考えました。

まず動画に出てきたガザの少年のように紛争下で暮らす子どもたちが4億人以上、気候変動による干ばつによって栄養不良で命の危機にある子どもたちが45440万人と紹介されました。

そして、水を得るために水汲みに毎日8時間を費やすエチオピアの少女の動画を見た後に行った真鍮（しんちゅう）製のネパールの水がめ運びの体験では、水を入れると約15kgの重さになると聞き大きなどよめきが起こりました。上腕計測メジャーで栄養不良児の上腕の太さが9㎝であることに驚き、マラリア予防のための蚊帳に入る体験もしました。

SDGsの目標とも重なるユニセフの活動。長峰中学校の生徒は「体験やインタビューを通して活動の内容がよく分かり、ユニセフが子どもたちの命や幸福を考えてくれていることがうれしい」と感想を述べてくれました。講師の問いかけに対しても積極的な応答があり、最後に「すべての子どもに○○を」に入れる言葉を思いついた、と挙手する生徒が半分以上ありました。

参加者　舞子小学校6年生129人
長峰中学校1年生171人

ユースとのミーティング

11月9日（土）

コレル桜塚（大阪府豊中市）

unicef Campus
ユニセフキャンパス

unicef Campus

兵庫県ユニセフ協会の学生チームユニーズのメンバー3人と、日本ユニセフ協会職員、大阪と兵庫のユニセフ協会関係者とのミーティングが、大阪会場と東京・長崎をオンラインで結んで行われました。

まず、日本ユニセフ協会のサポートのもと、学生事務局が企画・運営している学生ボランティア組織『unicef Campus』（ユニキャン）の紹介がありました。2021年に活動を開始し、毎年全国の約150人の学生が登録しています。ここではユニセフの目指す社会の実現のため、大学生（ユース）ならではの視点に立って、オンラインでの交流会・勉強会やイベントでの発信などを行っています。また各地域で活動しているユース同士の全国ネットワーク作りも進めています。

この日参加した兵庫の学生からは、メンバーを増やす方法や役割分担・スケジュール管理の仕方などについての質問がありました。それに対して、まずネットの活用を工夫して常に発信すること、メンバーの得手不得手に合わせて担当を決めること、早めに年間計画や定例会の日を決めておくこと、などのアドバイスがありました。オンラインの便利さもあるけれど、なるべく対面の機会を増やしてワイワイ楽しんでやりたいことをやっていると人は集まってくる、組織化されるまでは引っ張っていく人が必要との話もありました。

最後に、ユースから「課題がたくさん見つかった。まずユース組織としての骨組みをしっかり作り、全国のユースとつながる道筋をつけていきたい」「勉強や就活に忙しいけれど、ユニキャンの人たちに倣って自分なりの関わり方でできそうなことをやっていきたい」という感想が聞かれ、これからの活動に向けての刺激をたくさん受けたミーティングになりました。

EVENT REPORT

文化の秋 イベントの秋 ワクワクする秋

いろいろなイベントを企画し
各地で行われたイベントに参加し
多くの人とふれあいながら
ユニセフの活動を紹介。
楽しいことがいっぱいの
2024 年の秋を満喫しました。

国際平和デー「たまろっとPeace Week」

9 月 16 日（月）～ 21 日（土）
玉津のつどい場たまろっと（神戸市西区）

国際平和デーに合わせ「たまろっと Peace Week」が開催されました。戦争の現実に直面する子どもたちの写真を展示し、最終日の 21 日にはブースを出展しました。大きなホールに、楽しく国際協力ができる外国コイン仕分けコーナー、SDGs やユニセフの仕事を遊びながら学べるすごろくやゲームが勢ぞろい!! 大学生のボランティアも大奮闘でした。

▲ 戦争の現実を伝える写真を展示
▶ 魚つりゲームを楽しむ親子と大学生ボランティア

写真に写る子どもたちの姿を見つめる人たち

ユニセフ写真パネル展 困難な状況下に生きる子どもたち

9 月 24 日（火）～ 30 日（月）
コープこうべ生活文化センター（神戸市東灘区）

今、世界では紛争や気候変動による災害などが多発し、人道支援を必要としている子どもたちが急増しています。パレスチナ、ウクライナ、ソマリア、パキスタンなどの過酷で困難な状況下でも懸命に生きる子どもたちの姿を写した写真パネルを展示しました。また、子どもの権利についてのポスターや子どもの権利条約の解説パネルも併せて展示しました。（協力 大阪ユニセフ協会、玉本英子さん）

うみかぜ音楽祭 2024 in 舞子公園

10 月 6 日（日）
兵庫県立舞子公園

爽やかな風が吹き始めた舞子公園で開催されたうみかぜ音楽祭に、ユニセフもブース出展しました。
テーマは SDGs。くじ引きで出た数字のパネルをめくり、環境についての課題とユニセフとしての取り組みなどを伝えました。兵庫県ユニセフ協会のキャラクター・くーまんも共に呼びかけ、小さなお子さんも含めたたくさんの方々に参加していただきました。同じブース内ではネパールを支援する団体の物販も行われました。

▲ SDGs の番号くじを引く子ども
▶ くーまんとボランティアの高校生たち

姫路市医師会看護専門学校文化祭

10月19日（土）
姫路市医師会看護専門学校

10月15日「世界手洗いの日」にちなんで学生たちが紙芝居で手洗いの方法とDVDで手洗いダンスを紹介しました。優しく子どもたちに接している看護学生の様子は保育士さんのたまごだったっけ（？）と勘違いする程でした。支援物資のひとつ赤ちゃん体重計は実習用の新生児の人形を使って看護専門学校ならではの紹介ができました。ユニセフに関心のある学生には活動へのお誘いもしました。

▲ 新生児の人形と赤ちゃん体重計
◀ 手洗いダンスのDVDを見る来場者

▲ まちがい探しクイズをする親子
◀ ガザ・ウクライナへの募金を呼びかけるポスター

コープこうべの組合員まつり

10月13日（日）コープ桜が丘組合員まつり&ジョイフルまつり
10月18日（金）コープ三木緑が丘組合員まつり

コープ委員を中心にコープの活動紹介や商品の試食などが行われる組合員まつり。地域企業も参加して開催されたコープ桜が丘組合員まつり&ジョイフルまつりではユニセフ支援物資を紹介。ユニセフのマークを使ったまちがい探しクイズは子どもたちに大人気でした。コープ三木緑が丘ではガザやウクライナの惨状を伝えるパネルを展示し、募金活動も行いました。

神戸市立盲学校六星（むつぼし）祭（文化祭）

10月31日（木）　神戸市立盲学校

日頃からユニセフの活動に興味を持って、募金活動や支援物資の説明の点訳をしたり、8月には出前学習授業も受けた生徒たちが、今回の文化祭ではブースを出しました。担当の中高生たちは前もって当協会事務所を訪れて展示する支援物資を選び、当日は説明やクイズでユニセフ活動をしっかりと伝えていました。
また、ペットボトルのキャップを集めて計り、2kgで1人分のワクチン支援になることを知らせるコーナーは、水がめや地雷レプリカの展示とはまた違ったユニークなものでした。

水がめを持ってみよう

▲ 集めたキャップの重さを計る生徒
◀ すべての子どもに○○を。何を入れますか？

このコインはどこの国のものかな？

虹っ子スクール「外国コインの仕分け&世界の子どもたちを知る」

11月9日（土）　コレル桜塚（大阪府豊中市）

小学生とその保護者を対象としたコープこうべの学習会が開かれ、当協会のボランティアが講師を務めました。はじめに世界の子どもたちの現状と、子どもたちのために役立てられる「ユニセフ外国コイン募金」の説明があり、その後グループに分かれてコインの仕分けに挑戦。仕分けのベテランのアドバイスを受けながら、国ごとの通貨に仕分ける作業にみんな夢中で取り組みました。子どもたちには少し難しかったようでしたが保護者からは、ユニセフのこういう活動を知ることができてよかった、という感想がありました。

1 トライやる・ウィーク

日　時　2024 年 11 月 11 日（月）～ 15 日（金）
参加校　上野中学校、本山中学校、義務教育学校港島学園

今秋も神戸市立の3つの中学校から2年生 6 人がトライやる・ウィークでやってきました。ユニセフの活動や世界の子どもたちの暮らしを知り、外国コインの仕分け作業などを行いました。最終日には自作のポスターを持ち「世界の子どもたちの健やかな成長のために」「すべての子どもに平和な未来を」と募金を呼びかけ、「いろんな人に励ましてもらって人の温かさを感じた」「誰かの助けになれたことが嬉しい」などの感想がありました。

2 ユニセフ啓発活動 永遠瑠（とわり）マリールイズさん講演会

日　時　11 月 18 日（月）～ 20 日（水）

1994 年に起きたルワンダ大虐殺から 30 年。今のルワンダは「アフリカの奇跡」と言われるほど復興しました。難民キャンプの暮らしも経験したマリールイズさんは「平和」「教育」「いのち」の大切さについて話されました。また、日本人と外国籍住民が互いに理解を深め合える「多文化共生」実現にむけたメッセージも伝えられました。

講演会は、尼崎市中央北生涯学習プラザ、神戸朝鮮高級学校、兵庫県立明石高等学校、玉津のつどい場たまろっと、の 4 か所で行われ、生徒と地域の方々約 530 人が参加しました。

3 第 46 回ユニセフ ハンド・イン・ハンド街頭募金活動

日時 / 場所　11 月 15 日（金）/ 住吉
　　12 月 22 日（日）/ 姫路、明石、元町、住吉、西宮

「手に手を取って」を意味するユニセフハンド・イン・ハンド募金は毎年 11 月から 12 月が募金月間です。2024 年のテーマは「子どもたちの健やかな成長を守ろう」。11 月はトライやる・ウィークでユニセフにやってきた中学生が実習最終日に募金を呼びかけ、12 月は各地点に多くの参加者が立って道行く人々に声を届けました。ご協力ありがとうございました。

Activities File 活動ファイル

兵庫県ユニセフ協会の活動履歴

2024 年 9 月～ 12 月

活動一覧 Activities List

学習会一覧

月日	訪問先	対象	人数
9月19日	宝塚市まいたに人権文化センター	小学1～6年生	22
9月27日	姫路市立津田小学校	5年生	111
10月2日	兵庫県立国際高等学校（芦屋市）	2～3年生	25
10月28日	マリストブラザーズ インターナショナルスクール（神戸市須磨区）	3年生	37
11月9日	コープこうべ大阪北地区 虹っ子スクール	小学生・大人	25
11月20日	西宮市立今津小学校	6年生	76
11月21日	神戸市立義務教育学校港島学園	8年生	72
12月12日	市川高等学校	1年生	110
12月22日	ボーイスカウト姫路第16団・18団	小学生・大人	45

地域活動一覧

＊ブース出展

月日	イベント名	
9月21日	国際平和デー「たまろっとPeace Week」（神戸市西区）	＊
9月24日～30日	ユニセフ写真パネル展「困難な状況に生きる子どもたち」（神戸市東灘区）	
9月26日	コープ魚住子育てひろばで募金活動（明石市）	
9月28日	ユニセフ入門講座（神戸市東灘区）	
10月6日	うみかぜ音楽祭2024 in 舞子公園(神戸市垂水区)	＊
10月13日	コープ桜が丘組合員まつり＆ジョイフルまつり（神戸市西区）	＊
10月18日	コープ三木緑が丘組合員まつり	＊
10月19日	姫路市医師会看護専門学校文化祭	＊
11月12日	地球のステージ（神戸市東灘区）	＊
11月16日	国際理解講座④「人生を変えるアフリカ」（神戸市中央区）	
11月18～20日	永遠瑠マリールイズさん講演会（尼崎市、神戸市垂水区、明石市、神戸市西区）	
11月30日	東ティモールスタディ―ツアー報告会（神戸市東灘区）	
12月7日	国際理解講座⑤「戦火の子どもたちと女性を見つめて～取材映像で伝えるウクライナ～」（神戸市中央区）	
12月8日	地球のステージ（加古川市）	＊
12月22日	第46回ユニセフ ハンド・イン・ハンド街頭募金活動（姫路、明石、元町、住吉、西宮）	

トライやる受入　神戸市立 3 中学校 2 年生 6 人
ユニセフ・キャラバン・キャンペーン　11/5 ～ 6、11/9

募金一覧

2024 年 7 月～ 10 月

学校・団体名
生活共同組合コープこうべ、(私)認定こども園あさひ保育園、コアキタマチショッピングセンター、玉津のつどい場たまろっと

ご協力ありがとうございました。（兵庫県ユニセフ協会関係分　敬称略、順不同）

4 2024 国際理解講座

※この講座は公益信託兵庫県婦人会館ユネスコ基金から助成を受け実施しました。

会　場　神戸市教育会館ホール
後　援　兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、神戸市教職員組合、コープこうべ第 3 地区本部

2024 国際理解講座④
人生を変えるアフリカ

講　師　大津司郎さん（アフリカジャーナリスト）
　　甲斐信好さん（拓殖大学副学長）
日　時　2024 年 11 月 16 日（土）
参加者　60 人

甲斐さんは、大津さんのコーディネートで 15 年間、ゼミの学生たちとアフリカスタディツアーを実施しています。今回の講座はツアーに参加した高校生の川口百香さんの報告も交えて行われました。
アフリカは地球で一番脆弱（ぜいじゃく）な地域であり、紛争と少年兵・難民・感染症・貧困などの社会課題に直面していますが、同時に国際政治の最前線でもあります。資源や労働力に恵まれ、国連総会での票にもつながる 54 か国があり、欧米諸国や中国、韓国などがアフリカに殺到しています。

甲斐さんは「日本の学生も少年兵や児童労働の子どもたちの姿を見て、生きることの大変さに気づき、考え方が変わる」と話し、大津さんは「知らないところでダイナミックに動いている世界を若者に見てほしい」と述べました。川口さんは「平和とそうでない部分のギャップの大きさを感じ、今後は多面的に物事を捉えたい」と話しました。

2024 国際理解講座⑤
戦火の子どもと女性を見つめて ～取材映像で伝えるウクライナ～

講　師　玉本英子さん（ジャーナリスト・アジアプレス所属）
日　時　2024 年 12 月 7 日（土）
参加者　70 人

2022 年以降、激しい戦闘が続くウクライナでは、子どもたちが遊びや学びの機会を奪われ命を脅かされ続けています。夫や子どもを戦地へ送り出し、悲しい知らせを受け取った女性たちもたくさんいます。玉本さんは今年も現地に赴き、人々の生の声を取材してきました。

戦争はゲームじゃないと知っている子どもたちが今欲しいものは、頭の上の平和な空。兵士の動員、2 万人以上の子どもの連れ去りとロシア化教育などあまり報道されていない実情も語られました。犠牲になるのは力なき市民。同じ時代に、複雑な思いで侵攻に向き合いながら、戦争と隣り合わせの日常を生きているウクライナの人々に心を寄せることが大切、と玉本さんは話しました。

Special Report

市橋さん：後列の右から 4 番目

ユニセフ
東ティモールスタディツアー報告

2024 年 9 月 29 日(日)～10 月 6 日(日)
市橋 純子さん（コープこうべ理事）

長い戦いを経て 2002 年に誕生したばかりの若い国・東ティモールで、人々は一体どんな気持ちで日々を暮らしているのだろう。出発前に資料を読めば読むほど、イメージが描けずにいました。打ちひしがれすさんでいるのではという心配は杞憂（きゆう）に終わり、実際にお会いしたのは、たくましくも温かで時にチャーミングな素敵な皆さんでした。
今回の視察先は東ティモールの東側にあるバウカウ県とビケケ県です。病院に医薬品を供給する倉庫や、コミュニティ保健センターと呼ばれる医療施設、コミュニティラジオ局を訪問しました。
保健センターにはユニセフからの支援による医療器具や啓発のためのパンフレット類が備えられています。医療スタッフはインドネシア統治時代から働いておられる方からディリの大学で学ばれた若い方まで、女性が多く活躍されていました。
そして今回一番印象に残ったのは「母親支援グループ」と呼ばれるボランティアスタッフの存在でした。これはもともと村におられた影響力のあるママたちをユニセフが組織化したもので、主に妊産婦の栄養指導をして地域を見守っています。病人が出たときには保健センターに連絡することもあり、いわば保健師のような役割。それをボランティアで担っておられることに驚きましたが、同時に、研修を重ねることによって現地の人が知識やノウハウを身につけることのできるユニセフの支援の形に共感しました。「スキルアップして対応できることを増やしたい」という声を何度もお聞きしたのが頼もしく、地域のために奮闘する方々の存在には個人的にとても励まされました。
色鮮やかな制服を着て学校に通う子どもたちや、日が暮れるまで追いかけっこやボール遊びに興じていた子どもたち、笑顔で挨拶を交わしてくれた子どもたちが、どうかこれからも健やかに育ちますように。できることを 1 つでも見つけられたらと思います。

ユニセフ募金 *Donations For Unicef*

通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280 兵庫	00190-5-31000	免除

緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
ガザ人道危機	ガザ K1-280 兵庫	00190-5-31000
ウクライナ	ウクライナ K1-280 兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280 兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280 兵庫	00190-5-31000
アフリカ栄養危機	アフリカ K1-280 兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280 兵庫	00190-5-31000
ロヒンギャ難民	ロヒンギャ K1-280 兵庫	00190-5-31000

＊共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会
＊郵便局窓口から専用振込用紙を使って振り込むと手数料は免除されます。専用振込用紙は事務局にありますのでご連絡ください。

いつでも
どこでも
気軽に募金
https://www.unicef.or.jp/sp/

Wish vol.75
ユニセフ兵庫ニュース

ユニセフ兵庫ニュース Wish
2025 年 1 月発行
発　行：兵庫県ユニセフ協会
住　所：〒658-0081
神戸市東灘区田中町 5-3-18
コープこうべ生活文化センター 2F
電　話：078-435-1605（平日 10:00 ～ 16:00）
ＦＡＸ：078-451-9830
E-Mail：h-unicef@kobe.coop.or.jp

●最新の情報はホームページで
https://unicef-hyogo.jp/
兵庫　ユニセフ　検索

Join Us 主催イベント

各日程等は変更になることがあります。
詳細はホームページをご覧ください。

参加費無料

ユニセフのつどい vol.23

日時　3 月 1 日（土）11:30 ～ 16:00
会場　コープこうべ生活文化センター

ユニセフのつどいは兵庫県ユニセフ協会の年に 1 度のお祭りです。今年はフェアトレード商品販売、講演「世界に飛び出したボクが伝えたいこと」岡本啓史さん（元ユニセフ教育専門官）、「平和を祈るうたうたい」おおまきちまきさん、ネパールダンス、人形劇などがあります。サブテーマは「教育」「平和」。子どもたちの明るい未来、なりたい自分、誰かのためにできること、新しい発見でワクワクする「つどい」へ。

2025 国際理解講座①「フェアトレードでつながる中東パレスチナ　そこにある日常との出会い」

日時　2 月 11 日（火・祝）13:30 ～ 15:00
会場　玉津のつどい場たまろっとホール
講師　髙橋智恵さん
（ソーシャルブランド架け箸 代表）

パレスチナの写真展と商品販売ブースもあります。

2025 年ユニセフセミナー①「子どもの権利と多様性」

日時　4 月 26 日（土）13:30 ～ 15:00
会場　神戸市教育会館
講師　山本真理子さん（国際人権法コンサルタント、医療ジャーナリスト）

参加申込みはホームページ上の申込みフォームでも受け付けています。

お問い合わせ
TEL 078-435-1605

News お知らせ

パネル展示「子どもにやさしい空間～ユニセフが考える災害時に大切なこと」

日時　1 月 12 日（日）～ 19 日（日）
会場　こうべまちづくり会館 4 階

阪神淡路大震災から 30 年の節目に行われる「こうべあいウィーク」に参加します。

ユニセフ ひょうご サポーター

賛助会員募集中

賛助会員となって、兵庫県ユニセフ協会の活動を支えてください。お申し込み、お問い合わせは事務局までお願いいたします。

Booth 出展参加

2 月 15 日（土）	「防災フェスタ」（コープこうべ生活文化センター）

事務局からのお知らせ

兵庫県ユニセフ協会「第 30 回理事会」「第 16 回評議員会」を開催しました。

日時　2024 年 12 月 4 日（水）
会場　コープこうべ住吉事務所

今回は役員改選の年にあたり、まず役員候補者を選任いただきました。その後 2024 年の活動報告、2025 年の事業計画を様々な視点から広くご意見をいただきました。これからも「子どもの権利」を理念とするユニセフ活動を通じて、誰もが安心して暮らせる、誰ひとり取り残さない社会に向けて、様々な団体と連携して活動を進めていくことを確認しました。